

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	新家 大輔（9）	<p>1. 金融リテラシー向上について</p> <p>政府が金融教育の重要性を提唱している現在、金融リテラシーの向上が注目を集めています。現代社会では、ライフスタイルの多様化や平均寿命の延伸によって、働き方や資金の使い方を見直す機会が増えています。また、2022年からは家庭科の学習指導要領に資産形成に関する学習が盛り込まれ、金融教育がより重要視されています。</p> <p>金融リテラシーの向上には、投資詐欺や金融トラブルの回避、資産形成の促進などのメリットがあります。さらに、経済的な自立やライフプランに合わせた資金管理なども実現できます。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 児童生徒における金融教育の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 資産形成やライフプランの設計などの相談を市民相談で受けられるようファイナンシャル・プランナーの資格を取得した職員を市民相談室に配置する考えはないか。</p> <p>(3) 一般向けに金融関係の講座を開催できないか。</p> <p>2. 限られた財源の中での資金運用について</p> <p>一般会計では税金や使用料などを活用して様々な市民サービスを提供しています。限られた財源の中でいかに運用して、多くのサービス（事業）を展開していくか考えなくてはならないと思います。</p> <p>短期であっても、金額次第では大きな果実を生むことができます。</p> <p>市民から頂いた税金を少しでも増やして有効に活用することも、市に求められていることだと考え質問いたします。</p> <p>(1) 一般会計及び基金の現在の資金運用状況及び効果はどうなっているのか。</p> <p>(2) 資金運用に当たり、実際にどのような基準や方法で実行しているのか。また、他部署との協議や調整も重要と考えるがいかがか。</p>	市長 教育長 及び 担当部長